

令和4年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(理科)科目：(物理基礎) 対象：(第2学年A組～E組)

科目担当者：(A組～E組:相川 ⑩)

教科・科目の 指導目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、物理学的に探求する能力と態度を育てると共に、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
----------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	正負の数や文字式の計算など、中学校までの基本的な計算力が不足している生徒が多い。また、理科という教科の中でも、特に物理分野に苦手意識をもっている生徒が多い。	①基本事項を定着させる。 ②基本的計算ができるように演習を行う。 ③物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高める。 ④	①計算問題の取り組みではグループ学習を取り入れる。 ②課題提出を定期的に行い、生徒の状態を把握する。 ③放課後や土曜講習等を利用した補習を行う。 ④演示実験・生徒実験により理解を深め、基本事項を定着させる。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			